

ハイビルド2液形エポキシ樹脂床用塗料



クリンカラーEワン

ホルムアルデヒド
放散等級

F☆☆☆☆

旧塗膜を選ばず、塗り替えにも適した厚膜タイプ床用塗料

4つの特長

- ① 優れた作業性**
厚膜タイプでありながらローラー塗装が可能。
1コートで美しい仕上がりが得られます。
- ② 塗り替えに最適**
アクリル樹脂系をはじめ、ほとんどの種類の
旧塗膜の上に直接塗装ができます。
※プライマーが必要な場合もあります。
- ③ 高耐久性**
エポキシ樹脂なので強靱な塗膜を形成。
耐摩耗性、耐薬品性にもすぐれています。
- ④ においも少ない**
従来のエポキシ樹脂塗料に比べて溶剤臭も少なく、
幅広い用途に使用できます。

写真はイメージであり、商品とは無関係です。

重要 POINT

- ➡ 2液形のため必ず硬化剤を混合してください。
- ➡ 主剤と硬化剤を混ぜたまま放置しておくと、反応が進みすぐに使用できなくなりますので、すみやかに床に流し、短毛ローラーにて塗り広げポットライフ以内に使いきってください。
- ➡ 施工を効率的に行うためにあらかじめ、混ぜる係・まく係・塗装する係の役割分担を決めたうえで作業してください。

スムーズな施工のために

STEP 1 必要なものを準備する

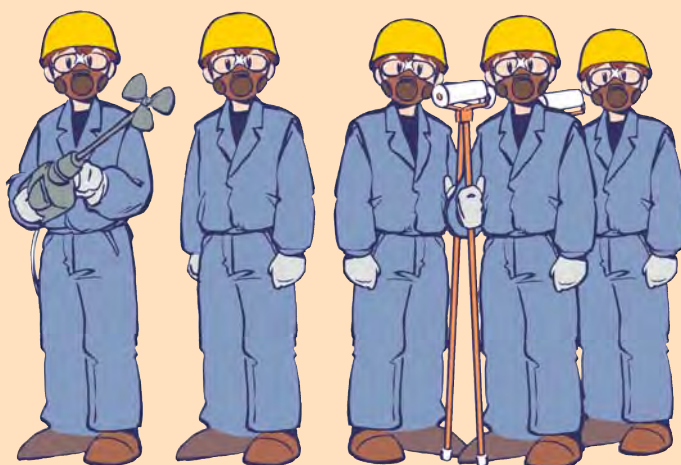


STEP 2 役割分担を決める

混ぜる係

まく係

塗装する係



STEP 3 混ぜる係 → まく係 → 塗装する係 の順で連携作業

混ぜる係

主剤に硬化剤を入れ、電動かくはん機で十分にかくはんします。

- 〈作業要領〉
- ① 塗料液のみかくはん。
(塗料を均一にする)
 - ② 硬化剤を入れる。
(マゼラーで30秒程度かくはん)
 - ③ 新しい別容器に移す。
(さらに約30秒程度かくはん)

※ 注意: かくはんは1分以内とする。それ以上かくはんすると増粘し平滑な塗膜になりにくい。



まく係

十分にかくはんできたら、すぐに床にまきます。



塗装する係

まき終わったら、ローラーですばやく塗り広げます。

気温によって異なるが、5～10分以内にこて塗りまたは、短毛ローラーで実施ください。



塗り替えに適したハイビルド2液形のエポキシ樹脂床用塗料です。

ニッペ クリンカラーEワン

塗り替えに適したハイビルド2液形のエポキシ樹脂床用塗料です。
下地がアクリル樹脂系、エポキシ樹脂系、ウレタン樹脂系、また水系塗り床材など、ほとんどの旧塗膜の上にプライマーなしで直接塗装でき、1コート仕上げが可能です。
また、溶剤臭も少なく、耐久性、耐薬品性にすぐれた塗膜を形成します。

用途（屋内用）


一般工場


食品工場


化学薬品工場


重機械工場


機械室・電気室


倉庫・配送センター


事務室・教室


厨房・食堂


店舗・事務所


研究室・実験室


通路・廊下・階段


コンクリート
駐車場（屋内）

色相 ニッペクリンカラーシリーズ色見本帳をご参照ください。（全て調色扱いとなります。） ○＝調色可（受注後生産） ×＝調色不可

色名	CB1	CB2	CB3	CB4	CB5	CB6	CB7	CB8	CB9	CB10	CB11	CB12	CB13	CB14	CB15	CB16	CB17	CB18	CB19	CB20	CB21	CB22	CB23	CB24	CB25	CB26	CB27	CB28	CB29	CB30
ニッペクリンカラー商品名	ダークグリーン	グリーン	フレッシュグリーン	ウイローグリーン	ライトブルー	レッドブラウン	バフ	ベージュ	グレー	ライトグレー	グラスグリーン	オリブグリーン	ウグイス	ミルクグリーン	ライトグリーン	カカオブラウン	ハニーブラウン	オークル	ライトベージュ	ホワイト	モカベージュ	アイボリー	ブラウンベージュ	ダークブルー	エロ	ダークグレー	カナデイエングレー	チャイナグリーン	オーデグレー	スカイブルー
ニッペクリンカラーEワン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

用途別適合表

施工場所		評価	施工場所		評価	施工場所		評価
工場・倉庫	一般工場	◎	会社・店舗・舗	一般事務室	○	駐 車 場	屋内駐車場	◎
	食品工場	※1 ○		厨房・食堂	※1 ○		屋外駐車場	—
	化学薬品工場	○		店舗・事務所	○	屋外施設	—	
	重機械工場	○	学 校 ・ 病 院	教室	◎	テニスコート	—	
	機械室・電気室	◎		研究室・実験室	◎	ベランダ	—	
	倉庫・配送センター	○		病院	○	コンコース・プラットホーム	—	
	冷蔵室	—		給食室	※1 ○	アスファルト床面	—	
	クリーンルーム	—	通路	通路・廊下・階段	○			

※1）常時、水に浸かる可能性のある場所、または下から（塗膜の裏面から）水分が回る可能性のある場所には、ニッペクリンカラーEレジモルを使用した塗装仕様で塗装してください。
食品類への臭い移りや養生期間に十分にご注意ください。

塗膜評価

評価項目	評価基準	評価	評価項目	評価基準	評価
耐摩耗性	摩耗に対しての総合評価。	◎	耐溶剤性	有機溶剤に対して強い。	○
硬度	塗膜が硬く、摩耗に強い。	◎	耐候性	紫外線に対して強い。	×
膜厚	膜厚があり、摩耗に強い。	○	作業性	作業しやすい。	○
耐水性	水分に強い。	◎	乾燥性	塗装後の養生期間が短い。	△
耐薬品性	酸・アルカリなどに強い。	◎	臭気	臭気が少ない。	○
耐油性	油分に強い。	◎	溶剤種別	—	ハイビルド形

※）評価基準は、相対的な比較であり、絶対値ではありません。
※）用途別評価は、「使用状況・目的」に沿って想定した場合の目安評価です。

塗料性状

ニッペクリンカラーEワン

		容量／ 荷姿	混合比 (重量比)	色	光沢	密度 (g/cm ³) (23℃)	引火点	発火点	消防法表示			有機溶剤 区 分	有害物表示
									化学名	危険物区分	危険物等級		
主 剤		12.5kg (石油缶)	5	各色	つや有り	1.35 (混合液) 〈淡彩〉	47℃	480℃	合成樹脂 エナメル塗料	第2石油類	Ⅲ(火気厳禁)	第3種	キシレン エチルベンゼン エポキシ樹脂
硬化剤	夏用	2.5kg (偏平缶)	1	淡黄色 透明			120℃	436℃	合成樹脂 クリアー塗料	第3石油類	Ⅲ(火気厳禁)	—	3- (アミノメチル) ベンジルアミン 変性脂肪族ポリアミン
	冬用	2.5kg (偏平缶)		淡黄色 透明			102℃	436℃	合成樹脂 クリアー塗料	第3石油類	Ⅲ(火気厳禁)	—	3- (アミノメチル) ベンジルアミン 変性脂肪族ポリアミン

ニッペクリンカラーパワフルプライマー

	容量／ 荷姿	混合比 (重量比)	色	光沢	密度 (g/cm³) (23℃)	引火点	発火点	消防法表示			有機溶剤 区 分	有害物表示	
								化学名	危険物区分	危険物等級			
主 剤	7kg (石油缶)	1	グレー	—	1.03 (混合液)	18℃	432℃	合成樹脂 エナメル塗料	第1石油類	Ⅱ(火気厳禁)	第2種	キシレン エチルベンゼン メチルイソブチルケトン イソプロピルアルコール エポキシ樹脂	
	2.5kg (半切缶)												
硬 化 剤	7kg (半切缶)	1	淡黄色 透明			19℃	432℃	合成樹脂 クリアー塗料	第1石油類	Ⅱ(火気厳禁)	第2種		キシレン エチルベンゼン イソプロピルアルコール 1-ブタノール(別名n-ブタノール) トルエン
	2.5kg (偏平缶)												

性能表 (JIS K 5970に準拠)

試験項目	規 格	性 能
容 器 の 中 で の 状 態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様である (JIS K 5970)	合 格
塗 装 作 業 性	塗装作業に支障があってはならない (JIS K 5970)	合 格
塗 膜 の 外 観	塗膜の外観が正常であるものとする (JIS K 5970)	合 格
耐 摩 耗 性 (mg)	規定回転数当たりの摩耗減量30mg以下 (JIS K 5970)	5
耐 衝 撃 性 (デ ュ ボ ン 式)	衝撃による変形で塗膜に割れ・はがれを生じないものとする (JIS K 5970)	合 格
耐 水 性	6時間水に浸したとき異常がない (JIS K 5970)	合 格
耐アルカリ性 (水酸化カルシウム飽和溶液)	6時間アルカリに浸したとき異常がない (JIS K 5970)	合 格
ホルムアルデヒド放散量	F☆☆☆☆:0.12mg/L以下	合 格
60度鏡面光沢度	80以上である (社内規格)	96
硬 度	H以上である	2H
軽 歩 行 可 能 時 間	24時間以内/23℃ (社内規格)	16時間

※注) 製品安全に関する詳細は安全データシート(SDS)をご参照ください。
※) 塗装後のフォークリフト走行可能時間は3日/23℃以上です。

塗装基準

●ニッペクリンカラーEワン

混 合：2液形のため「主剤／硬化剤＝5／1 (重量比)」に混合し十分にかくはんしてください。

硬化剤の選定：気温15℃以上の場合／夏用硬化剤を使用、気温20℃以下の場合／冬用硬化剤を使用

ポットライフ：夏の硬化剤の場合／温度23℃:40分・30℃:30分・35℃:20分、冬の硬化剤の場合／温度10℃:40分・15℃:30分・23℃:20分

希 釈 剤：無希釈

乾 燥 時 間：

塗 装 方 法	短毛ローラー塗り
希 釈 率	—
使 用 量	0.50～0.70kg/m ² /回

※) 使用量は標準の数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により幅を生じ増減します。

	10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	24時間以上 7日以内	16時間以上 3日以内	16時間以上 3日以内

※) この数値は使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

●ニッペクリンカラーパワフルプライマー

混 合：2液形のため「主剤／硬化剤＝1／1 (重量比)」に混合し十分にかくはんしてください。

ポットライフ：温度23℃:5時間・30℃:3時間

希 釈 剤：無希釈

乾 燥 時 間：

塗 装 方 法	中毛ローラー
希 釈 率	—
使 用 量	0.15～0.25kg/m ² /回

※) 使用量は標準の数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により幅を生じ増減します。

	10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	16時間以上 48時間以内	3時間以上 24時間以内	3時間以上 24時間以内

※) 乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

標準塗装仕様

1.内部床面(新設)流しのペ工法 平滑仕上げ

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤 (希釈率%)	塗装方法
素地調整	新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが9以下、含水率が9%以下(アナログ式測定器)もしくは4.5%以下(デジタル式測定器)になってから施工してください。表面のレイタンスや不純物は完全に取り除いてください。 ひび割れ、巣穴、不陸などは、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。 具体的な素地調整方法については、ニッペクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。					
下塗り	ニッペクリンカラーパワフルプライマー	1～2 ※2	0.15～0.25	3時間以上24時間以内	—	中毛ローラー
上塗り	ニッペクリンカラーEワシ	1	0.50～0.70	—	—	短毛ローラー

2.内部床面(新設)流しのペ工法 防滑仕上げ

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤 (希釈率%)	塗装方法
素地調整	新設コンクリートは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが9以下、含水率が9%以下(アナログ式測定器)もしくは4.5%以下(デジタル式測定器)になってから施工してください。表面のレイタンスや不純物は完全に取り除いてください。 ひび割れ、巣穴、不陸などは、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。 具体的な素地調整方法については、ニッペクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。					
下塗り	ニッペクリンカラーパワフルプライマー	1～2 ※2	0.15～0.25	3時間以上24時間以内	—	中毛ローラー
中塗り	ニッペクリンカラーEワシ	1	0.30～0.50	16時間以上3日以内	—	短毛ローラー
珪砂散布	中塗り塗装後、すみやかに珪砂5号を200～500g/㎡の割合でリシシガンなどで均一になるように散布する。 乾燥後余分な珪砂は、除去、清掃する。					
上塗り	ニッペクリンカラーEワシ	1	0.15～0.25	—	ニッペクリンカラーEシンナー(3～5%) ※1	短毛ローラー

3.内部床面(塗り替え)流しのペ工法 平滑仕上げ

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤 (希釈率%)	塗装方法
下地調整	はがれかかった既存塗膜や付着不良の既存塗膜は完全にケレン除去する。 既存塗膜の表面のごみ、ほこり、油脂類は除去し清浄な面とする。 表面にワックスがある場合は水性ワックス用はく離剤ではなく離し、水洗いを十分に乾燥し清浄な面とする。 具体的な下地調整方法については、ニッペクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。					
上塗り	ニッペクリンカラーEワシ	1	0.50～0.70	—	—	短毛ローラー

4.内部床面(塗り替え)流しのペ工法 防滑仕上げ

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤 (希釈率%)	塗装方法
下地調整	はがれかかった既存塗膜や付着不良の既存塗膜は完全にケレン除去する。 既存塗膜の表面のごみ、ほこり、油脂類は除去し清浄な面とする。 表面にワックスがある場合は水性ワックス用はく離剤ではなく離し、水洗いを十分に乾燥し清浄な面とする。 具体的な下地調整方法については、ニッペクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。					
下塗り	ニッペクリンカラーEワシ	1	0.30～0.50	16時間以上3日以内	—	短毛ローラー
珪砂散布	下塗り塗装後、すみやかに珪砂5号を200～500g/㎡の割合でリシシガンなどで均一になるように散布する。 乾燥後余分な珪砂は、除去、清掃する。					
上塗り	ニッペクリンカラーEワシ	1	0.15～0.25	—	ニッペクリンカラーEシンナー(3～5%) ※1	短毛ローラー

※) 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
※) 下地コンクリート表面のせい弱部、レイタンス、油などは付着不良になりますので十分に除去してください。
※) 旧塗膜にはがれがある場合はあらかじめ部分補修を実施し段差修正してください。
※) 下地が弾性塗り床の場合は塗り替え適用できません。
※) 旧塗膜が不明の場合は、必ず試験施工を行ってください。
※) 塗り替えの場合でも、旧塗膜の劣化状態や付着状況、使用環境などによりプライマーが必要な場合があります。
※) カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されています。特別な環境が想定される施工現場、部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。
※) 主剤と硬化剤を混ぜたものを缶の中で放置しておくとして10分程度で使えなくなりますのですぐに床に流して塗り広げてください。
※) 塗装後の軽歩行可能時間は16時間以上、フォークリフト走行可能時間は3日以上(23℃)が必要です。
※) 1) ニッペクリンカラーEワシは無希釈で使用してください。希釈して塗装すると、希釈シンナーの影響で、旧塗膜が溶けたり、縮んだり、硬化不良を起す原因になります。
また防滑仕上げの上塗りとして使用する場合のみ、ニッペクリンカラーEシンナーにて3～5%範囲内で希釈して使用してください。(規定以上の希釈は避けてください。)
※) 2) 素地の吸い込みがけしい場合は乾燥後に増し塗りしてください。

施工上の注意（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください）

- ・ワックスを使用している床面は付着阻害を起こしますので、ワックス用はく離剤などで除去し水洗いを十分に行い十分に乾燥後、塗装してください。
- ・厚く塗る過ぎると乾燥が遅れたり、ひび割れが入ったりしますので、厚付けに注意してください。
- ・旧塗膜が何回も塗り重ねられて積層されている場合、塗膜全体が柔らかくなっている場合があります。この場合、そのまま塗り重ねると塗膜の物性差によって塗膜割れが発生するおそれがありますので、旧塗膜をはく離してから塗装してください。
- ・軽歩行は塗装翌日から可能ですが(23℃)、車両の走行は塗装後72時間が経過した後にしてください。早期の使用は、塗膜がはがれたり、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じます。
- ・ニッペクリンカラーAベストなどのアクリル樹脂塗料で何度も塗り替え改修され塗膜厚みが大変厚くなった場合は、塗膜の硬化遅延や塗膜硬度が十分発現しない場合がありますので、旧塗膜の全面はく離による塗り替えをお願いします。
- ・塗料液と硬化剤を混ぜたものを缶の中に入れてたまにしておく、急激に発熱し危険な状態になるおそれがあるため、速やかに床に流し施工してください。残った場合は発熱防止のため水を10cmほど張ってください。
- ・アスファルト面への塗装は、割れやにじみが発生するおそれがありますので避けてください。
- ・旧塗膜がエポキシ系、ウレタン系の場合は、ポリシャワーガンダーで表面を目粗ししてください。
- ・下地が強化コンクリートや着色コンクリートの場合は、付着性向上のため研削機を用いて、下地表面を物理的に目粗しする、床処理液で化学的に表面処理するかなどしてください。
- ・常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして、排水処理を行ってください。
- ・常時水がかかる可能性がある場所、または下から(塗膜の裏面から)水分が廻る可能性がある場所には、ニッペクリンカラーEレジモルクリヤーを使用した塗装仕様で塗装してください。
- ・下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。
- ・下地コンクリート表面のレタンス、エプロレックスなどの粉化物、ぜい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合や、旧塗膜にはがれがある場合には、あらかじめエポキシ樹脂/パテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑な面にしてから塗装を行ってください。
- ・塗り替え時、旧塗膜が弾性の場合は使用しないでください。
- ・旧塗膜の種類が不明の場合には必ず試験施工で適性を確認してください。塗り替えの際、旧塗膜の劣化状況や付着状況、または使用環境などによりシーラーレスタイプの塗料でもプライマーが必要な場合があります。
- ・シンターコンクリート面に塗装する場合は、プライマーを数回(2～3回)塗装し、素材表面の強度を向上させてから上塗りを塗装してください。
- ・施工に関しての詳細な注意事項はクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ・所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやタシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件下で塗装してください。
- ・表面のごみ、ほこり、エプロレックス、レタンスなどは除去し、目遣い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ・ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- ・汚れ、きすなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落としてください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄する、専用でご使用ください。
- ・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- ・開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・**ニッペクリンカラーEワンの塗装は短毛ローラーを使用してください。中毛ローラーなど毛の長いローラーを使用すると発泡しやすくなります。**
- ・食品工場・厨房・食堂・給食室などでの使用時は、食品類への臭い移りや養生期間に十分ご注意ください。
- ・無鉛原色の使用により、エロー・オレンジ系の色相は隠ぺい性が低いため塗り回数(工程数)が増加します。また、下塗りにホワイトもしくは共色(調色品:ホワイト=1:1混合)の塗装をしてください。塗料種によっては近似色や調色不可となりますので色見本帳の調色可否表をご参照ください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 ニッペクリンカラーEワン CB-9グレー 主剤

横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
 - 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱いってください。
 - 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。禁煙です。
 - 容器を密閉してください。
 - 容器および受器を接地してください。
 - 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
 - 火花を発生しない工具を使用してください。
 - 粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
 - 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
 - この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
 - 汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
 - 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
 - 適切な保護手袋/防毒マスクまたは防じんマスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
 - 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
 - 飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
 - 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
 - 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
 - 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水でシャワーで洗ってください。
 - 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
 - 取り扱った後、手を洗ってください。
 - 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
 - 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
 - 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
 - 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
 - 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
 - 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
 - 水を消火に使用しない。
 - 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
 - 施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
 - 直射日光や水濡れは厳禁です。
 - 積み重ねは3段までとってください。
 - 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
 - 内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
 - 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
 - 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
☐ 詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
☐ 本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険

危険有害性情報



引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/遺伝子疾患のおそれの疑い/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害(単回暴露)/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害/水生生物に非常に強い毒性(急性)/長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

日本ペイント株式会社

お客様センター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- 当社は2014年2月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しております。
- このカタログは、再生紙を使用しています。

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物

検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

カタログNo.

NP-R176

NB140203T

2014年2月現在

- 本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright2014 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.
- 「ニッペクリンカラー」登録第1714383号は、日本ペイント株式会社が権利者の登録商標です。